

事務事業名	屋外広告物法関係許認可事務				担当	建設部 都市計画課 計画係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			電話番号	0285-83-8152		
施策名	2	良好な市街地の形成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	屋外広告物法、栃木県屋外広告物条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成21年度～）		
予算科目	1. 一般会計	8. 土木費	4. 都市計画費	1. 都市計画総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	屋外広告物については、良好な景観形成や風致の維持のため、表示場所や方法及び管理などについて「栃木県屋外広告物条例」に基づき規制することを目的としている。平成21年4月より「栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例」に基づき屋外広告物法令に関する事務が市に権限委譲されたため、その事務を行う。新規の申請は常時受付し、更新は3年に1度となる。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 28年度実績 「栃木県屋外広告物条例」に基づく許可事務 29年度計画 H28年度と同様とする。	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込) ア 新規許可 件 37 21 40 33 33 イ 更新許可 件 67 88 85 71 78 ウ 変更許可 件 0 2 0 0 0 エ その他届出（管理者等設置届出） 件 23 17 27 40 27 オ 除却届出 件 16 19 24 10 17
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 屋外広告物	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込) ア 許可広告物数 基 791 730 1501 457 488 イ ウ エ オ
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 県条例に基づき規制することで、良好な景観や風致を維持する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込) ア 許可・届出件数 件 127 128 152 144 138 イ 除却届出 件 16 19 24 10 17 ウ エ オ
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 住環境水準の向上や良好な街並みの形成を図る。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込) ア 良好な市街地形成に関する満足割合 % 81.7 83.0 80.7 79.1 81.2 イ ウ エ オ

(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	156	164	165	165	126	
	事業費計(A)	千円	156	164	165	165	126	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	720	720	850	850	850
		人件費計(B)	千円	2,926	3,039	3,562	3,530	3,530
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,082	3,203	3,727	3,695	3,656	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成21年4月より「栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例」に基づき屋外広告物法令に関する事務が市に権限委譲されたため、その事務を行うことになった。
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成22年9月より市内企業のグループが、屋外広告物ボランティアとして、市内を定期的に見回り活動をしている。
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本事業により、良好な景観や風致の維持が期待できる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市全体の一体的な景観形成を維持するための、県条例に基づく許可事務であるため妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 県条例に基づく許可事務であるため。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 県条例に基づく許可事務であるため。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 県条例に基づく許可事務であるため。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 県条例に基づく許可事務で、人件費を主に最小限の支出である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 県条例に基づく許可事務で、最小の人件費で対応している。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 県条例に準じた手数料のため、公正、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							